

北イタリア安全対策情報
2020年4月～6月

1 治安情勢

地元の治安当局によれば、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う移動制限措置等により、窃盗をはじめ全般的に犯罪認知件数がコロナ禍以前と比べて大幅に減少したが、5月18日に同一州内の、6月5日には州間を越える移動制限が解除されるなど本措置が段階的に緩和されて以降、徐々に犯罪が増加しているとのことである。なお、本四半期は、当館における邦人の犯罪被害の認知はなかった。

また、イタリア国内でテロの発生及び未遂事案はなかった。

2 日本人被害例（件数は当館に届け出のあったもののみを計上）

当館における邦人被害の認知はなかった。

- (1) スリ 0件 （参考：1月～3月は15件）
- (2) 置き引き 0件 （同 ： 5件）
- (3) 車上狙い 0件 （同 ： 2件）

3 殺人・強盗等凶悪犯罪例

日本人以外の被害が発生した事件の一例は以下のとおり。

(1) 殺人

6月7日（日）

午後7時45分頃、ミラノ市内の路線バス（91番）車内において、モロッコ人男性（27歳）が他の乗客とけんか口論の末にナイフで刺され、搬送先の病院で死亡した。犯人は現場から逃走し、警察が捜査中。

(2) 強盗

5月28日（木）

午後1時頃、ミラノ市内のスーパーマーケット店内において、無職のイタリア人男性（49歳）が拳銃を利用して、商品を強奪しようとしたが、その区域をパトロール中の警察官に逮捕された。

4 テロ・爆弾事件発生状況

特になし。

5 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし

6 対日感情の変化

特になし。

7 日本企業の安全に関する諸問題

特になし。